

## 2 生活環境項目

pH、BOD等生活環境の保全に関する環境基準は、利用目的に応じて河川6種類（AA、A、B、C、D、E）、湖沼4種類（AA、A、B、C）の水域類型に分類され、県内の河川には、AA、A、B、Cが、湖沼には、AAとAがあてはめられている。平成21年度は、全52地点で測定し、その結果は次のとおりであった。

### ◇BOD（生物化学的酸素要求量）又はCOD（化学的酸素要求量）

環境基準の達成率（水域類型があてはめられている27水域でのBOD又はCODの日平均値が年間で75%以上基準に適合している地点の割合）は、次のとおりであり、河川が昨年にくらべ4.5ポイント増加し、湖沼が昨年にくらべ20ポイント増加した。

（表-2、図-2）

河川	100%	22水域／22水域	(95.5%)	21水域／22水域
湖沼	80.0%	4水域／5水域	(60.0%)	3水域／5水域

（ ）内は、前年度の値

河川の45地点をBOD年間平均値で評価すると、表-3のとおりであった。

また、BOD（COD）の適合率（水域類型があてはめられている地点での総測定日数に対する環境基準に適合した日数の割合）は、表-4のとおりであった。

### ◇pH（水素イオン濃度）、SS（浮遊物質）、DO（溶存酸素量）、大腸菌群数

それぞれの項目における環境基準適合率は、次のとおりであった。

pH	河川	92.0% (92.4%)
	湖沼	88.3% (90.0%)
SS	河川	97.3% (97.7%)
	湖沼	100% (100%)
DO	河川	94.7% (99.8%)
	湖沼	83.3% (95.0%)
大腸菌群数	河川	9.2% (10.9%)
	湖沼	91.7% (78.3%)

（ ）内は、前年度の値

適合率の算出方法：環境基準に適合した日数/総測定日数（環境基準点のみ対象）